

1. 科目名 (単位数)	中国の文化と言語Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	GECM1314
2. 授業担当教員	秋谷 幸治		GECM1324
4. 授業形態	講義、ディスカッション、グループ学習等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	中国の文化と言語Ⅰの単位を修得した後に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	「中国の文化と言語Ⅰ」の学習を基礎に、中国の人びとの暮らし、伝統文化、風俗習慣を盛り込んだ教材を精読する。簡単な日常会話と文型を学び、生きた中国語会話の体験学習を必要に応じ適宜おこなう場合もある。例えば、ビデオを用いて、中国の大学生活や庶民の暮らしを紹介するなどはその一例である。これらのことを通して、日本に身を置くわたしたちの暮らしや考え方と比べてみる。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.中国語の入門から初級につながる会話を聞き取ることができ、話せることができるようになる。 2.中国語で書かれた、ある程度まとまった文章を理解できる。 3.中国語の表現から、中国語話者のものの見方、考え方、価値観を読み取ることができる。 4.3を通して中国の文化、社会、歴史的背景について理解を深めることができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	【宿題】 授業前にテキストの例文を7回以上音読練習しておいてください。 【レポート課題】 日本に伝わった中国の食文化について各自レポートし、15回目に提出してください。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 塚本慶一監修 劉穎著『《最新版》1年生のコミュニケーション中国語』白水社、2017。 ※中国の文化・風俗習慣については、プリントを配付して学習します。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 (学習目標) <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の入門から初級につながる会話を聞き取ることができ、話せることができたか。 2. 中国語で書かれた、ある程度まとまった文章を理解できたか。 3. 中国語の表現から、中国語話者のものの見方、考え方、価値観を読み取ることができたか。 4.3を通して中国の文化、社会、歴史的背景について理解を深めることができたか。 ○評定の方法 事前学習・事後学習の状況も含め、授業への参加度、小テスト、レポート等を総合して評価する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的な参加 総合点の30% 2. 小テスト 総合点の40% 3. 課題レポート 総合点の30% 		
12. 受講生へのメッセージ	語学を修得するには、とにかく声を出すことが大切です。授業では間違いを恐れず、大きな声で発音するように心がけよう。理解できなかったことは、授業後に遠慮なく質問して下さい。		
13. オフィスアワー	授業終了後、教員控え室に来て下さい。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	中国語について知ろう 中国で使われる漢字(簡体字と繁体字)、発音表記の仕方(ピンイン)などについて復習します。	事前学習	シラバスをよく読んでおく。
		事後学習	授業内で配布したプリント「中国語とは？」を繰り返し読み直しておく。
第2回	発音の復習① 単母音・子音・声調の復習 【中国の生活を知ろう】中国の学校制度	事前学習	テキスト pp. 6～9 を繰り返し読んでおく。
		事後学習	自分の名前を中国語で10回以上音読しよう。
第3回	発音の復習② 複母音・鼻母音・軽声の復習	事前学習	テキスト pp. 6～9 を繰り返し読んでおく。
		事後学習	自分の名前を中国語で10回以上音読しよう。
第4回	どこにありますか 場所指示代名詞などの使い方について練習します。【中国の生活を知ろう】中国の交通事情	事前学習	テキスト pp. 28～29 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。
		事後学習	テキスト p. 28 の会話を7回以上音読練習する。
第5回	何がありますか 動詞“有”などの使い方について練習します。	事前学習	テキスト pp. 32～33 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。
		事後学習	テキスト p. 32 の会話を7回以上音読練習する。
第6回	第1～5回の総復習、小テスト	事前学習	テキスト pp. 28～33 を読み直し、小テストに向けて総復習をしておく。
		事後学習	小テストで答えられなかった部分を復習しておく。
第7回	ホテルにチェックイン 完了を表す“了”などの使い方について練習します。【中国の生活を知ろう】中国の住宅事情	事前学習	テキスト pp. 36～37 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。
		事後学習	テキスト p. 36 の会話を7回以上音読練習する。
第8回	何時に行きますか 経験を表わす“過”などの使い方について練習します。	事前学習	テキスト pp. 40～41 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。
		事後学習	テキスト p. 40 の会話を7回以上音読練習する。
第9回	タクシーに乗る 前置詞“從”、“到”などの使い方について練習します。【中国の生活を知ろう】中国の若者文化	事前学習	テキスト pp. 44～45 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。
		事後学習	テキスト p. 44 の会話を7回以上音読練習する。
第10回	試着と支払い 助動詞“可以”などの使い方について練習します。	事前学習	テキスト pp. 48～49 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。
		事後学習	テキスト p. 48 の会話を7回以上音読練習する。

第11回	第7～10回の総復習、小テスト	事前学習	テキスト pp. 36～49 を読み直し、小テストに向けて総復習をしておく。
		事後学習	小テストで答えられなかった部分を復習しておく。
第12回	中国映画を見よう	事前学習	付属CDを使ってリスニングの練習をしておく。
		事後学習	聞き取れた言葉をまとめてみよう。
第13回	中国の食文化を学ぼう①（グループ学習） 【日本に伝わる中国の食文化—麺類】	事前学習	事前に配布した「中国の食文化を学ぼう！」のNo.1のプリントをよく読んでおくこと。
		事後学習	中国から伝わった麺類にどのようなものがあるのか、自分で調べてみよう。
第14回	中国の食文化を学ぼう②（グループ学習） 【日本に伝わる中国の食文化—お菓子】	事前学習	事前に配布した「中国の食文化を学ぼう！」のNo.2のプリントをよく読んでおくこと。
		事後学習	中国から伝わったお菓子にどのようなものがあるのか、自分で調べてみよう。
第15回	中国の食文化を学ぼう③（グループ学習） 【日本に伝わる中国の食文化—お茶】課題提出	事前学習	事前に配布した「中国の食文化を学ぼう！」のNo.3のプリントをよく読んでおくこと。
		事後学習	中国から伝わったお茶にどのようなものがあるのか、自分で調べてみよう。